

第33期(平成25年5月期)
決算説明会

平成25年8月22日

株式会社 京進 (東証二部:4735)

第33期業績の補足説明

(1) セグメント別業績

セグメント	第33期 (平成24年6月～平成25年5月) 売上高	第31期 (平成23年3月～平成24年2月) 売上高
学習塾事業	9,445百万円	9,761百万円
その他の教育関連事業	470百万円	246百万円
全社または相殺	▲12百万円	▲8百万円
合計	9,902百万円	9,999百万円

※第32期は決算期変更により平成24年3月～5月の3ヶ月決算

(2) 事業部門別の第31期比較

- 学習塾事業は、各事業部門とも微減
- 英会話事業(当期3校開校)、日本語教育事業(当期2校譲受)の売上高の増加、保育事業(1園目)の堅調な集客により、その他の教育関連事業の売上高は、**第31期比191%**

2013/08/22

2

平成25年春 合格実績①

●京都公立高校トップ3校 塾別合格者数 No.1

堀川探究科群 50名

嵯峨野京都こすもす 58名

西京エンタープライジング 38名



●滋賀県立高校トップ9校 塾別合格者数 No.1

膳所 144名

彦根東 134名

県立トップ9校計 235名



※その他の学校にも多数合格！ 別紙をご覧ください

2013/08/22

3

平成25年春 合格実績②

京都大学 現役トップ合格2名！



正門宗大君
京都大学薬学部薬科学科

水田郁君
京都大学工学部物理工学科

※その他の学校にも多数合格！ 別紙をご覧ください

2013/08/22

4

第33期 開校・統廃合

事業部門	開校数	統廃合数	備考
小中部	1校	5校	—
個別指導部	1校	3校	※その他1校をFC化
FC事業部 (個別指導京進スクール・ワンの フランチャイズ教室)	7校	1校	※その他1校を直営化 ※第33期末合計95校
英会話事業部	3校	—	—
日本語教育事業部	2校	—	※左記2校は事業譲受

- 個別指導京進スクール・ワンのフランチャイズ教室は
平成25年7月16日現在で、合計100校
- (上記)個別指導部の開校は、NYハリソン教室
(アメリカに初の開校) → 次のスライドに記載

2013/08/22

5

第33期 活動実績トピックス

(1) アメリカへ初の開校（平成24年6月4日）

京進スクールワン・NYハリソン教室

初めて「個別指導」形態での海外教室

海外駐在員の子女が、日本人学校だけでなく、
地元のインターナショナルスクールに通うなど多様化
→ 受験指導のニーズや進度も多様化



ドイツ・デュッセルドルフ校、中国・広州校
で培った海外校としてのノウハウを活かす
とともに、多様なニーズに対応していく



2013/08/22

6

第33期 活動実績トピックス

(2) 日本語教育事業の展開を加速

平成24年6月

タイ ラチャマンガラ工科大学に

「京進ラチャマンガラ日本語センター」を開設

平成24年8月

株式会社京進ランゲージアカデミー設立

平成24年9月

MANABI外語学院 譲受(→京進LA新宿校)

平成25年4月

東京国際文化教育学院 譲受(→京進LA秋葉原校)

平成25年6月

ベトナム 国立人文社会科学大学に

「ホーチミンUSSH京進日本語センター」を開設

日本語学校を買収・新設
京進「まず東京の教室取得」
京進は、日本語教育事業を加速させるため、まず東京の教室取得に力を入れている。今年6月、東京都港区に「京進日本語学校」を新設し、7月から授業を開始した。また、今年8月に「京進日本語学校」を東京都中央区に新設し、9月から授業を開始した。さらに、今年9月に「京進日本語学校」を東京都中央区に新設し、10月から授業を開始した。

【別紙資料】

平成25年5月30日付
日本経済新聞記事

京進は、日本語教育事業を加速させるため、まず東京の教室取得に力を入れている。今年6月、東京都港区に「京進日本語学校」を新設し、7月から授業を開始した。また、今年8月に「京進日本語学校」を東京都中央区に新設し、9月から授業を開始した。さらに、今年9月に「京進日本語学校」を東京都中央区に新設し、10月から授業を開始した。

2013/08/22

7

第33期 活動実績トピックス

●中国の大学との関係作り



2013/08/22

8

新たな中期経営方針(2013-2015)

- 「自立」をテーマに
顧客への提供価値を向上させる
- 学習塾事業での新たな展開
～「自立」を軸とした新たな商品・サービスの改革～
- 将来の成長を担う
新規事業への積極的な投資
- 引き続き「人材育成と能力開発」に注力

2013/08/22

9

学習塾事業での新たな展開

(1) 脳科学を活用したリーチング・メソッド

東京大学准教授
池谷裕二先生 監修



- 京進の学習システムの柱である
「週実制&循環発展学習法」
→効果的な復習による長期記憶化



- 脳科学を活用し、準備力、計画力、改善力を毎日の学習と生活の中で身につける
→生徒手帳で展開

海馬がつかさどる復習効果と扁桃体を活躍させ記憶力を高める学習習慣を作る

2013/08/22

10

学習塾事業での新たな展開

(2) 「遊ぶように学ぶ」をコンセプトに①

～生徒が自主的に学ぶ環境作り～

元灘校国語教師 橋本武先生監修

「銀の匙」様式 国語授業

(小中部 小3・4)
(高校部 中高一貫コース中1)

【別紙資料】

平成25年6月7日付
京都新聞記事
平成25年7月15日付
京都新聞記事

灘中・高で半世紀教壇に 橋本武さん監修

「伝説の国語授業」塾で

この生徒の眼を惹き出す指導で、「伝説の国語教師」と呼ばれた。京進は、国語の授業で楽しく学ぶ環境をつくり、他の教科の学習方向へとつながる狙いで、「銀の匙」様式国語授業を夏季講習から開設する。国語指導を橋本武さんのもとに派遣し、授業の進め方について指導を受けた。密に道員で考えて調べる、といった橋本武を取り入れる。教務進定や社員研修の場でも随時求める。対象は小3、4年生と中高一貫校の中学1年生で、週3回で始める。中学生は「銀の匙」を使うが、小学生は別の新しい教材を採用する。(堀内陽平)

京進、「銀の匙」読み込み実践へ

灘中・高で半世紀教壇に 橋本武さん監修

進学校の灘中学・高校(神戸市)で半世紀にわたる教壇に立ち、中助の小説「銀の匙」を中学3年間かけて読み込む授業で知られる橋本武さん(80)が、京進市川校に監修した国語の授業で、京進が今夏から始める。「遊ぶように学ぶ」という橋本武さんの教育観にない、自ら学ぶ姿勢を子どもたちが身につけることを目指す。

橋本武さんの授業は、語句説明から語が「展開」する

2013/08/22

11

学習塾事業での新たな展開

(3) 「遊ぶように学ぶ」をコンセプトに②

～生徒が自主的に学ぶ環境作り～

タブレット端末を使った

リアルタイム対戦型 計算テスト

愛知県の8校舎で実験導入
(小中部 小4～6対象)

【別紙資料】

平成25年6月21日付
日本経済新聞記事



2013/08/22

12

学習塾事業での新たな展開

(4) 「いいね！キャンペーン」

～生徒の自己肯定感を向上させる環境作り～

個別指導部における

生徒を積極的に

「ほめる」取り組み

生徒達は自己肯定感を高め
積極的に通塾



2013/08/22

13

学習塾事業での新たな展開

- (5) 「プラス100時間学習への挑戦！」
 「夏期講習500時間学習に挑戦！」
 ～大きな目標達成による自信と学習量の確保～

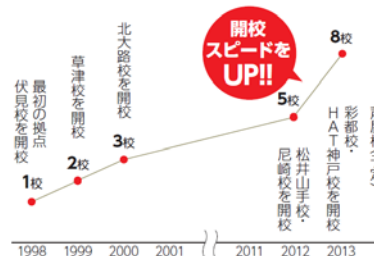


2013/08/22

14

新規事業～新たな成長の柱へ～

- (1) 英会話事業
 開校をペースアップ
 平成25年9月に芦屋校開校予定



【別紙資料】
 平成25年7月30日付
 日本経済新聞記事



- (2) FC事業
 平成25年7月16日付で 加盟100教室 突破！

2013/08/22

15

新規事業～新たな成長の柱へ～

(3) 保育事業

第1号園「HOPPAからすま京都ホテル」は順調に集客

東京都世田谷区経堂に

平成25年12月第2号園を開園予定

3年後には累計10園へ

【別紙資料】

平成25年6月25日付日本経済新聞記事

平成25年7月9日付日本経済新聞記事



(4) 幼児教育事業

平成26年4月開校洛南高校附属小学校受験へ対応

(5) 研修事業(子会社アルファビート)

公立小学校(東京都葛飾区松上小学校)でキャリア教育実施

2013/08/22

16

新規事業～新たな成長の柱へ～

(6) 日本語教育事業

国内の日本語学校3校は順調な生徒数推移

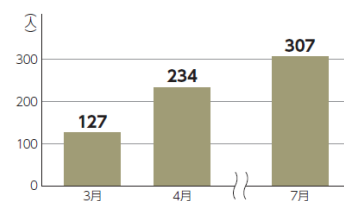
今後も展開を加速

来春、京都に

日本語学校開講予定



■京進ランゲージアカデミー 2013年3月～7月の生徒数推移



2013/08/22

17

拡大・成長の根幹は「人」

学習塾事業の新たな展開、
新規事業の成長を可能にするのは人の成長
引き続き「人材育成と能力開発」に注力

そして、長期ビジョンのひとつ
「100の子会社、100人の社長」
へつなげる

第33期:「次世代リーダー育成研修」開始
第34期:「ミドルマネージャー研修」開始
今後も様々な成長・育成の環境作りを行う



2013/08/22

18

CSR報告

ミャンマーで日本語スピーチコンテスト実施

1999年から毎年、国立マンダレーデフスクールへ寄付活動を実施
15年目の今年「日本語スピーチコンテスト」開催



ミャンマー政府
から感謝状を
頂きました



【別紙資料】

平成25年4月19日付フジサンケイビジネスアイ 記事

2013/08/22

19

最後に ～教えるとは ともに希望を語ること～

これからの中期3ヵ年は、
「**教育理念**」を具現化することに こだわりたいと考えております。

—— 教育理念 ——

- ▶ 私たちは、学力と人間性の向上をはかります
- ▶ 私たちは、達成体験を通じて自信がつく指導をします
- ▶ 私たちは、自立と貢献のできる人を育成します
- ▶ 私たちは、国際社会で活躍できる人を育成します

今後とも、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

国公立高校

京都トップ3校適性・滋賀トップ9校

塾別合格者数 **No.1!!**

京都公立合計	744名	滋賀県立合計	1255名
公立トップ3校適性	146名	県立トップ9校	729名
堀川探究学科群	50名	膳所	144名
嵯峨野京都こすもす	58名	彦根東	134名
西京エンタープライジング	38名	特色選抜合計	235名

大阪公立	214名	奈良公立	243名	兵庫公立	188名	愛知公立	290名
公立文理学科	3名	奈良	12名	兵庫	2名	旭丘	2名
大手前	1名	畝傍	4名	星陵	4名	一宮	2名
茨木	1名	郡山	16名	宝塚北	2名	千種	6名
四條畷	1名					菊里	6名

筑波大学附属 1名 京都教育大附属 31名 大阪教育大附属(天王寺) 1名

私立高校

京都・滋賀で塾別合格者数NO.1!

洛南	92名	大阪桐蔭	17名	ラ・サール	1名
東大寺学園	6名	関大系	11名	渋谷教育学園幕張	1名
西大和学園	3名	奈良学園	21名	城北	1名
同志社系	107名	東海	79名	高田	1名
立命館系	221名	滝	9名	智辯学園和歌山	1名

難関中学・中高一貫中学

洛南・洛星	28名	滝	49名	早稲田	2名
東大寺・西大和	8名	東海	28名	攻玉社	2名
同志社系	100名	南山女子	12名	ラ・サール	10名
立命館系	124名	神戸女学院	1名		
大阪星光学院	2名	甲陽学院	1名	京都公立中高一貫	28名
四天王寺	2名	愛光	6名	滋賀県立中高一貫	102名

※合格者数は京進グループ全体のものです ※内部進学を含みます

合格実績詳細は→ <http://www.kyoshin.co.jp/jisseki/>

2013年中学受験・高校受験
今年も京進生は頑張りました!

東大・京大

19名

国公立医学部医学科 10名

阪大・神大・名大・九大・東北大 57名

国公立大学合計 510名

東京大	1名	京都大	18名	大阪大	19名
神戸大	23名	名古屋大	12名	九州大	2名
東北大	1名	筑波大	4名	一橋大	1名
東京外大	1名	京都府立医大	8名	滋賀医大	9名

私立大学

5051名

関関同立
902名

関西大 231名 関西学院大 58名
同志社大 204名 立命館大 409名

早慶上智
34名

早稲田大 23名 慶應大 6名
上智大 5名

産近甲龍
1051名

京都産業大 375名 近畿大 220名
甲南大 29名 龍谷大 427名

GMARCH
南山
65名

明治大 10名 青山学院大 3名
立教大 3名 中央大 5名
法政大 9名 南山大 35名

2013年大学受験
今年も京進生は頑張りました！

2013年 小学受験

今年も京進生は頑張りました！

ふれわんの小学受験は、
今年も圧倒的合格率！！

立命館小学校

合格率 100% 10名合格！

同志社小学校

合格率 100% 7名合格！

関西大学初等部

合格率 100% 1名合格！

京都女子大附属小

合格率 100% 3名合格！

同志社国際初等部

合格率 100% 2名合格！

京都聖母学院小

合格率 100% 7名合格！

ノートルダム学院小

合格率 88% 7名合格！

近畿大学附属小

合格率 100% 1名合格！

南山大学附属小

合格率 100% 1名合格！

※合格者数は2013年1月時点の実績です

合格実績詳細は→ <http://www.kyoshin.co.jp/jisseki/>

日本語学校を買収・新設

京進、まず東京の教室取得

学習塾の京進は留学生向けの日本語教育事業を強化する。日本語学校の買収を進めるほか、海外の大学に設ける教育拠点を通じて留学生を呼び込む。2015年3月末の生徒数を現在の倍の500人に増やす。少子化で学習塾の市場規模が頭打ちとなるなか、成長が見込める日本語教育を新たな収益源に育てる。

子会社の京進ランゲージアカデミーが、留学生向け日本語教室を手掛け

る東京国際文化教育学院（東京・台東）の秋葉原校を取得した。生徒は約60人。京進は東京の渋谷と新宿にも日本語学校を

展開しており、生徒数は3校合わせて約250人。地盤の近畿でも日本語学校の買収や新設を検討、3年後には日本語学

校を10校程度に増やす。

6月にはベトナム・ホーチミン市の大学に日本語センターを開く。海外

の教育拠点は中国とタイに続き、3カ国目。アニメや漫画を通じて日本に

関心を持つ人が増えているため、将来の留学生として囲い込む。清華大学や貴州大学など、奨学金

を支援する中国の大学8校と連携し、日本への留学や就職に関心を持つ生徒を呼び込む。

京進は京都府や滋賀県を中心に展開する学習塾のほか、保育事業も手掛けている。13年5月期の売上高見通しは100億円、このうち日本語教育事業は約2億円。

「伝説の国語授業」塾で

灘中・高で半世紀教壇に 橋本武さん監修



進学校の灘中学・高校（神戸市）で半世紀にわたる教壇に立ち、中勘助の小説「銀の匙」を中学3年間かけて読み込む授業で知られる橋本武さん（100）＝写真、宮津市出身＝が監修した国語の授業を、京進が今夏から始める。「遊ぶように学ぶ」という橋本さんの教育論にならない、自ら学ぶ姿勢を子どもたちが身につけることを目指す。

京進、「銀の匙」読み込み実践へ

ことで生徒の興味を引き出す指導法で、「伝説の国語教師」と呼ばれた。京進は、国語の授業で楽しく学ぶ素地をつくり、他教科の学力向上につなげる狙いで、「銀の匙」様式国語授業を夏季講習から開設する。国語担当社員を橋本さんのもとに派遣し、授業の進め方について指導を受けた。寄り道、自分で考えて調べる、といった橋本流を取り入れる。教材選定や社員研修の助言も随時求める。対象は小学3、4年生と中高一貫校の中学1年生で、拠点校で始める。中学生は「銀の匙」を使うが、小学生は別の易しい教材を採用する。（堀内陽平）

遊ぶように学ぼう

自分の意思で



中勘助の小説「銀の匙」を教材にしたユニークな授業で知られる灘中・高（神戸市）の元国語教師、橋本武さん（100）＝宮津市出身＝が14日、京都市下京区のキャンパスプラザ京都で講演した。「銀の

匙」を教材に使った理由を語り、遊ぶように学ぶ大切さを訴えた写真。橋本さんは「人間形成の原動力、わたしの目指した国語授業」と題して話した。「銀の匙」について

下京 元灘中・高国語教師 橋本さん講演

「少年が成長していく姿を描いた作品と生徒自身が重なる所があり、自分が作者になったような気持ち味わえる。言うなればこれは遊びのやり方」とした。

「遊ぶ」と「学ぶ」の違いについて「遊ぶは自分の意思で行動できる。学ぶは押し付けられたことを受け入れるほかない」とした。五十音の「あかさたな」を反対から読ませて記憶力を刺激する試みも振り返った。

生徒の立場からすると、「どうすれば遊ぶことが学ぶことにつながるかわからない」と話し、「遊ぶように仕向けていくのがプロの教師としての務めだ」と指摘した。

講演は、学習塾の京進（京都市下京区）が開いた。塾に通う子どもや保護者ら約300人が聞き入った。（矢ヶ村尚幸）

京進、タブレット導入

小学生向け教室 今夏、まず愛知で

学習塾の京進は今夏の講習から小学生向けの教室にタブレット（多機能携帯端末）を導入する。無線LANに接続したタブレットで計算問題を一斉に解かせ、試験後すぐに点数や順位を示す。生徒にとっては自分の成績や弱点をすぐに把握できる利点がある。愛知県内の教室から始め、全国にも順次広げる。

7月下旬の夏季講習から天白校（名古屋市）や高蔵寺（愛知県春日井市）など愛知県内の8校で始める。小学4～6年生を対象に、他校の生徒と同じ時にかけ算や割り算などのテストを受ける。解答はペンで簡単に入力でき、終了後は瞬時に県内

順位や正答率、解答時間がわかる。

講師はそれぞれの理解度に応じた指導が可能になるほか、採点の手間も省ける。生徒も競争を通じて学習意欲を高められるとみている。システムの開発はソフト関連のフレンズ（東京・品川）が手掛けた。まず約100

台導入し、申し込み状況に応じて増やす。

講座は週1回40分で受講料は月約4000円。夏以降は京都や滋賀など全国約70校に広げる方針。今後は計算分野に限らず、図形を用いた応用問題のほか、英語や理科など他教科での採用も検討する。

小学生向け英会話強化

京進、2年で10教室新設

学習塾の京進は小学生以下向けを主力とする英会話事業を強化する。おむね2年間で教室の数を現在の7校から17校に増やす計画で、大阪府や兵庫県を中心に展開する。小学校の英語必修化を追い風に、需要が高まっているのに対応する。

同社の英会話教室「ユニバーサルキャンパス」は約1300人の生徒のうち小学生以下が8割を

占める。小学生でも中学生レベルの勉強ができるなど多様な授業が受けられるのが強みという。

新しい教室として9月に兵庫県芦屋市に開くほか、来年は大阪府豊中市や吹田市などで検討中で

計4校を予定する。2015年中に5校を新設する計画だ。いずれも大型店などの集客施設内が中心となる。

1校当たりの初期投資は約1200万円を見込む。講師はネイティブの外国人を2人ずつ雇う。各校とも初年度は100人、3年後に300人の生徒獲得を目指す。

英会話教室は1998年の伏見校（京都市）が第1号。その後、滋賀県などにも広げた。同事業の売上高を13年5月期の1億8千万円から16年5月期に5億円に増やす目標だ。

学童に塾教材・幼児の英会話…

近畿の企業が共働きやシングルマザーを支援する保育事業に相次ぎ参入している。塾や英会話のプログラムなどを組み込んだり、病気・残業にも対応したりするなど、サービスに付加価値をつけているのが特徴だ。保育がビジネスとして関心を集める中、違いを打ち出して顧客をつかもうと、起業組や他業種からの参入組が様々な知恵を絞っている。

和歌山市で教育関連ビジネスを手掛けるワーク&ライフコミュニケーションは昨年6月、学習施設「プラスリー」を開設した。特徴は有名学習塾の四谷大塚の教材を使っ

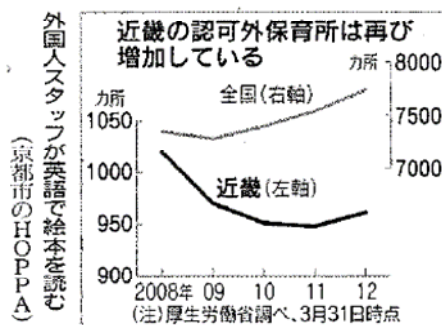
「技あり保育」参入の波

共働き家庭増 成長余地見込む



た塾機能。公設の学童保育は午後6時終了が一般的だが、プラスリーは最長で夜9時まで。休み時間の一時預かりもある。ワーク&ライフの山口実社長は知人女性が子供の小学校進学で仕事を辞めざるを得なかったのを見て、事業を興した。学童保育施設「ダン」を4

月、堺市に開いた運営会社・夢見る(堺市)の重見彰則社長も起業組。共働き世帯の増加を受けて参入した。学習塾の京進は京都市のホテル内に「HOPPA A」を開いた。児童福祉法に基づく都道府県知事の認可を得ていない「認可外保育施設」だが、最



大阪で病児保育を始めたマザーネット(大阪市)は東京、長野、福岡に拠点を広げる。「ケアリス」と呼ぶ育児のプロを

大朝8時から夜8時までの保育と、知育プログラムや英語教育が売りだ。保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「認定こども園」の開設が広がらない中、運営会社HOPPA(京都市)の関隆彦社長は「保育施設で様々な教育を受けられれば、費用や送迎などの面で親の負担は減る」と話す。

自宅に派遣。急な発熱や残業にも対応する。厚生労働省によると、近畿の認可外保育所は昨年3月末時点で961カ所。厚労省は「近年は企業の参入が目立つ」と話す。近畿の待機児童数は昨年4月時点で3885

人に上り、保育施設の需要は高い。企業も社員のけの支援体制を整える。マザーネットの上田理恵子社長は「企業がこ23年、経営戦略の一つとして女性の支援制度を考えている」と話す。夢見るの重見社長は

「近畿はまだ学童保育といえど公立と考えている親が多い。民間に目を向ける親が増えれば、市場は拡大する」と見る。近畿経済産業局も「この分野は雇用を創出する成長産業になる可能性がある」と話している。

東京に保育園開設

■京進 学習塾の京進は12月に、東日本で同社初の保育園を東京に開設する。英語などの教育に力を入れる。都市部は所得水準の高いく共働き世帯が多く、需要が見込めると判断した。今後3年で首都圏を中心に10施設の開園を目指す。

次世代に理解者を育てる日本語教育

桐生稔・元大阪産業大学教授 随想録①

飛び立つ ミャンマー

私がミャンマーに関わるようになってから、もうすぐ半世紀になる。テイン・セイン政権による民主化と規制緩和でかつてない変化を遂げるミャンマーの現在を見ながら、半世紀の経験を活かして、同国の将来と日本の今後の対応について、適宜、記していきたい。

パプルの様相

相互監視で厳しく管理されていた「ビルマ式社会主義」時代、そして、政治活動を極端に制限され、多くの活動家が収監されていた「軍政」時代、ミャンマーの中心都市ヤンゴンの人々は「格子なき緑の牢獄」と呼んでいた。

いま、当時のヤンゴンの面影は全く見られない。首都機能がネピドーに移り、首都ではなくなったとはいえ、2011年以降の各種の制限緩和と政治の安定を受けて、多くの外国人観光客やビジネスマンが訪れ、ヤンゴンは大きく変わった。

しゃれた店舗や大型スーパーが数多く開店し、老朽化したダウンタウンのビルは、近代的なビルに建て替えられ始めた。地



価や家賃も高騰し、パプルの様相だ。多くの土地や貸家・貸ビルといった資産を持つ人は、莫大な所得を得ることができ、彼らはひと握りに過ぎないとはいえ、いわばミャンマーの新たな富裕層を形成している。

地方や農村、少数民族地区にも発展の兆候を見ることができ、ヤンゴンに比べれば微々たるもので、地域間の所得格差の拡大が確実に進行している。こうした経済発展に伴う諸問題を、どう乗り越えていくのかは、ミャンマーが解決すべき重要課題のひとつだ。

その一方で、民主化の流れは予想以上に速い。事前検閲などメディアに関する規制は大幅に緩和され、4月からは半世紀ぶ

りに民間の日刊新聞の発行が認められた。

また、土地収用、環境、民族・宗教に関わる諸問題はすべて国会で審議され、その内容はほとんどの場合で開示されるようになった。約半世紀にわたる国軍主導の体制下では、まったく見られなかった状況だ。

夢を語る学生

こうした民主化と規制緩和の顕著な例を先月末、ヤンゴンに次ぐ第2の都市マンダレーで開催された日本語スピーチコンテストで目の当たりにした。

同コンテストは、関西を中心に進学塾を展開する京進（京都市下京区）が開いた。同社は、ミャンマーのろうあ学校の施設

今年3月末、ミャンマー第2の都市マンダレーで初めて開かれた日本語スピーチコンテスト（桐生氏提供）

や教育器材などへの寄付を15年間にわたって続けてきた。ミャンマーの人材育成を進めるには日本語教育の普及が必要との観点から、今回、マンダレーで初の日本語スピーチコンテストを開催した。

コンテストでは、予選を通過した17人の参加者が与えられた課題につき1人5分間、原稿なしでスピーチを行った。参加者はいずれも地元大学の日本語学科や日本語塾の生徒で、日本への留学経験などはない。

あらかじめ与えられた3つの課題を選んで話すのだが、いずれも正確な日本語を話すことに感激した。そのなかで「私の夢」を選んだ大学2年の女子学生は「将来は大使を目指して日本との友好を深めたい」と力強く語った。

また、民族衣装をまとったバオ族の学生は「故郷シャン高原の発展と生活の近代化に取り組みたい。日本語を広めて日本への留学を勧めたい」と訴えた。

さらに、「日本で宇宙工学を学ぶこと」と壮大な夢を語った学生も。

「尊敬する人」というテーマでは、家族や教師をあげた人がほとんどだったが、ある学生は「私に希望を与えてくれたアウン・サン・スー・チーさん」と題してスピーチした。「その勇敢な姿勢と行動がミャンマーの人たちに光を与えた。ぜひ、（彼女に）国のリーダーになってほしい」と力説したものだ。

軍政時代、野党指導者のアウン・サン・スー・チー氏を公然と称賛するようなことはありえなかった。現在のミャンマーでは、自由な言論が許され、しかも若い世代が本当に自身の将来や夢を語るような環境が到来したことを実感できた。

ミャンマーでの日本語教育を充実させることは、日本企業の進出支援だけでなく、将来のミャンマーを担う世代のなかに、日本の良き理解者を育てるということをおぼえてはならない。



きりゅう・みのる

1964年にアジア経済研究所に入所。91年から中部大学国際関係学部教授。その後、大阪産業大学経済学部教授、同大学アジア共同体研究センター長など歴任。その間、ミャンマー政府経済顧問も務める。現在、日本ミャンマー協会理事、タイ・ラチャマンララ大学客員教授。71歳。新潟県出身。



<http://www.kyoshin.co.jp/>

本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町 382-1

TEL:075 (365) 1500 (代表)